

第5次地域福祉計画・第5次地域福祉活動計画策定にかかるアンケート調査

分析結果報告書

令和8年5月

磐田市・磐田市社会福祉協議会

調査概要

調査名称: 第5次地域福祉計画・第5次地域福祉活動計画策定にかかるアンケート調査

有効回答数: 862件

調査方法: WEBアンケートによる本人入力（広報いわた、社協だより、磐田市公式LINE）

調査内容: 全22問（属性4問、本設問18問）

分析手法: 単純集計、クロス集計（年代別・家族構成別）

設問一覧（全22問）

属性（問1-4）

- 問1: 年齢（令和8年1月1日現在）
- 問2: 現在の仕事
- 問3: 家族構成
- 問4: 居住区

生活上の不安（問5-5-2）

- 問5: 不安や困りごとの有無
- 問5-2: 不安・困りごとの内容（複数回答）

相談相手（問6-6-2）

- 問6: 相談相手の有無
- 問6-2: 相談先（複数回答）

地域での暮らし（問7-10）

- 問7: 住み慣れた地域に長く暮らしたいか
- 問8: 入退院支援者の有無
- 問9: 近所づきあいの程度
- 問10: 近所づきあいへの感じ方

地域の居場所（問11-11-2）

- 問11: 居場所の有無
- 問11-2: 居場所の種類（複数回答）

地域活動（問12-14）

- 問12: 地域活動への参加経験
- 問12-2: 参加している活動内容（複数回答）
- 問13: 今後参加したい活動（複数回答）
- 問14: 地域への関心の変化

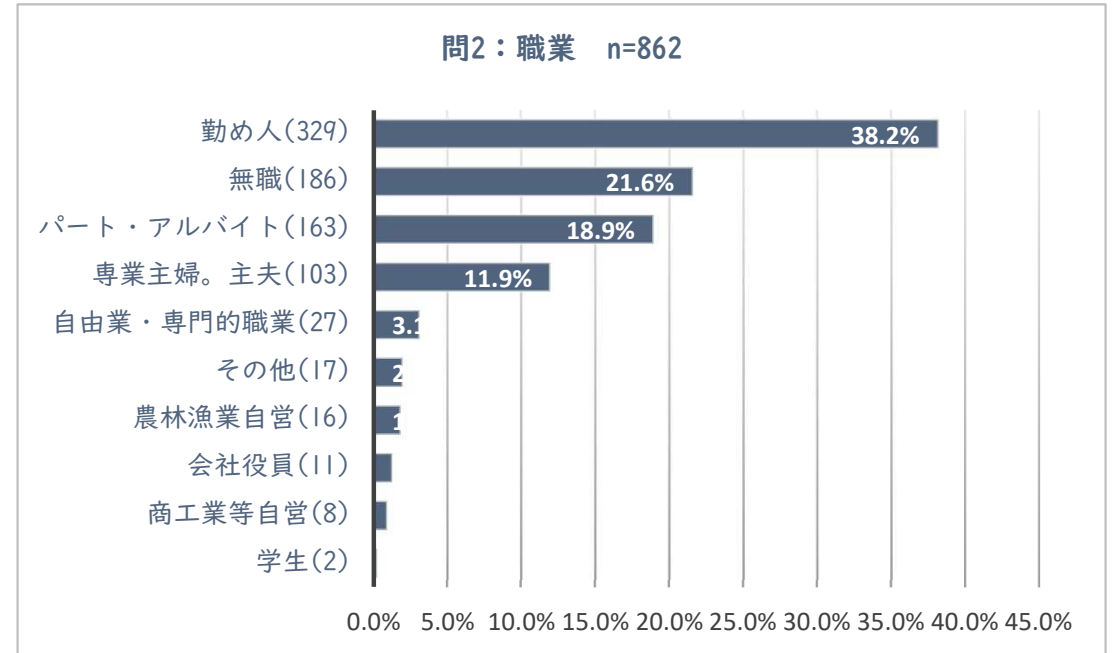
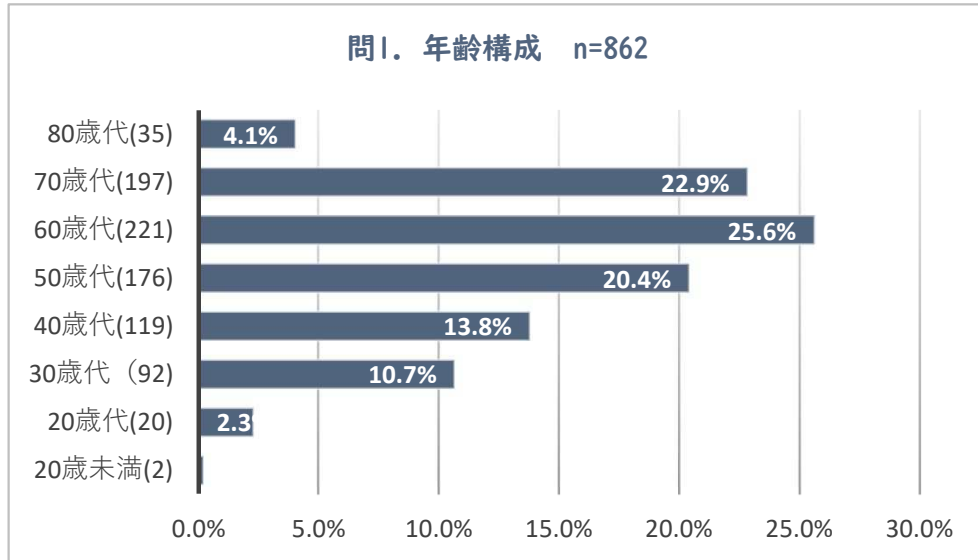
福祉サービス・制度（問15-19）

- 問15: 福祉サービス利用経験
- 問16: 福祉制度の認知度
- 問17: 福祉情報の入手先（複数回答）
- 問18: 社協事業の認知度（複数回答）
- 問19: 社協事業の利用経験

今後への期待（問20-22）

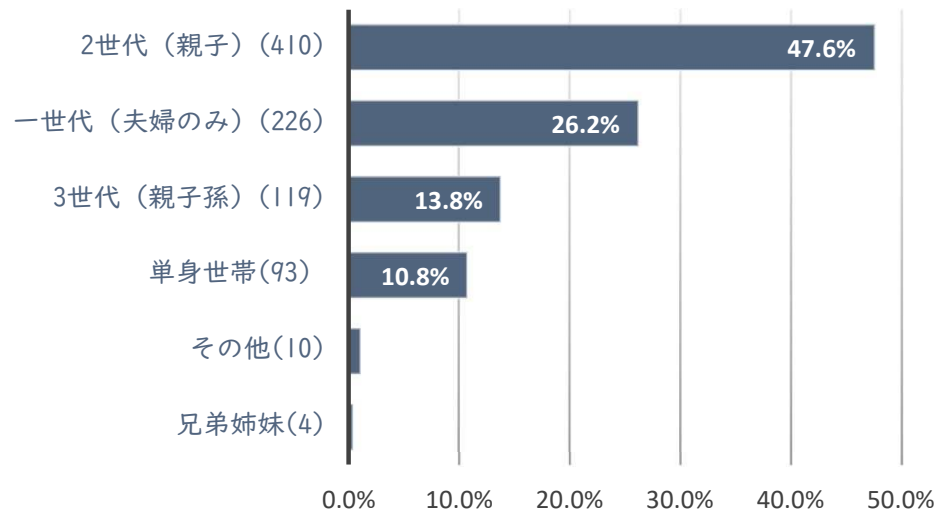
- 問20: 社協への期待（複数回答）
- 問21: 市への期待施策（複数回答）
- 問22: 地域への期待（複数回答）

回答者属性 (1) 年齢・職業

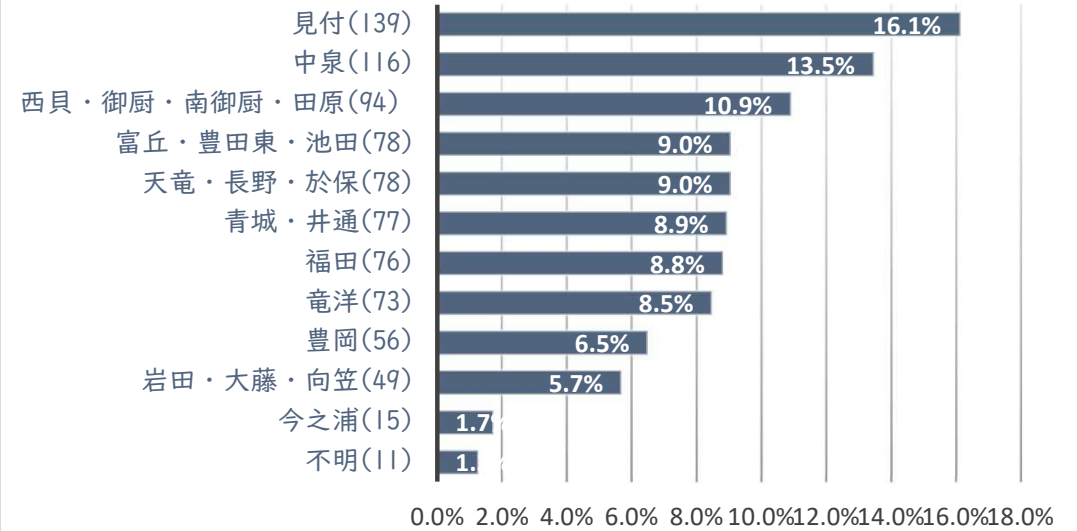


回答者属性 (2) 家族構成・居住区

問3：世帯構成 n=862



問4：居住地区 n=862



問5: 不安・困りごとの有無 (n=862)

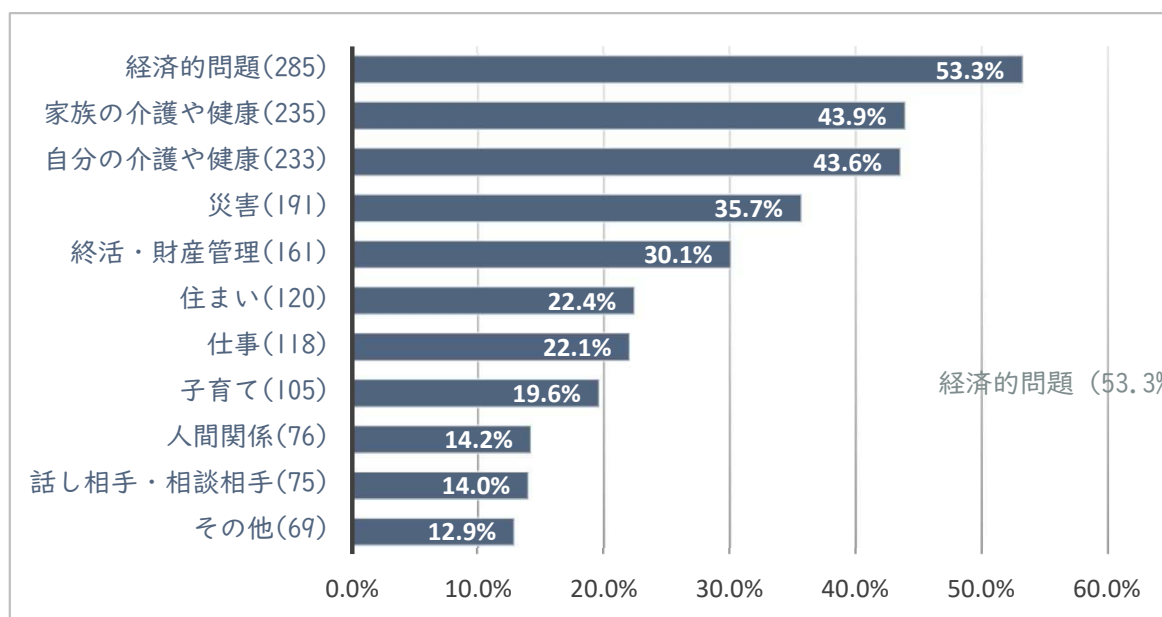
現在の生活全般において不安や困りごとはありますか。

ある
535人
62.1%

ない
327人
37.9%

問5-2: 不安・困りごとの内容 (複数回答 n=535)

問5であると答えた方にお聞きします。どのような不安や困りごとを抱えていますか。[複数回答]



経済的問題 (53.3%) が最多。介護・健康関連の不安 (自分・家族合わせて約87%) も高い

クロス集計：不安・困りごと有無

問5 年代別・家族構成別クロス集計

年代別

年代	ある	ない
20歳代	85.0%	15.0%
30歳代	67.4%	32.6%
40歳代	72.3%	27.7%
50歳代	66.5%	33.5%
60歳代	57.9%	42.1%
70歳代	52.3%	47.7%
80歳以上	60.0%	40.0%

家族構成別

家族構成	ある	ない
単身	68.8%	31.2%
夫婦のみ	52.2%	47.8%
2世代	64.4%	35.6%
3世代	65.5%	34.5%
その他	80.0%	20.0%

20歳代が最も不安を抱えている（85.0%）。単身世帯は68.8%が不安・困りごとあり

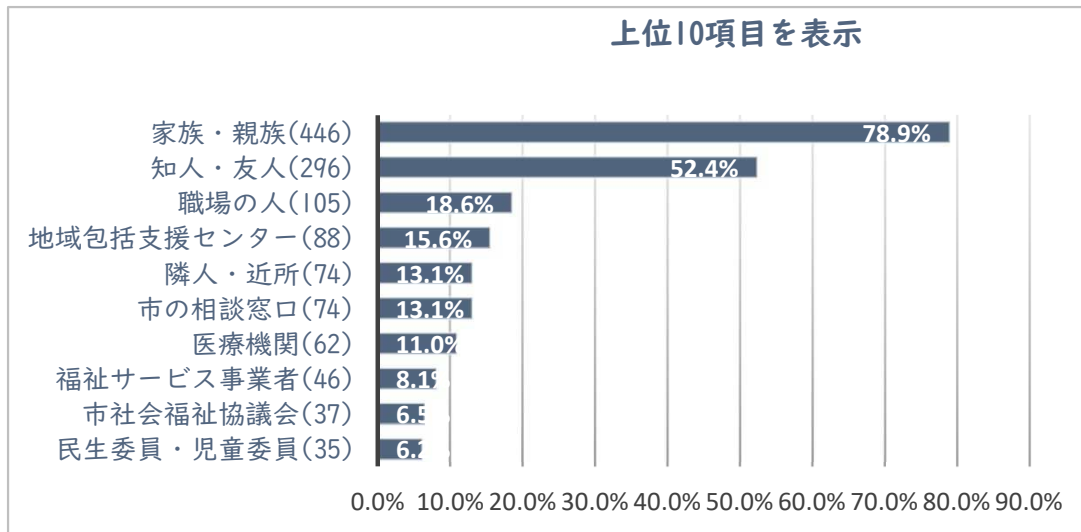
問6:相談先の有無 問6-2: 相談先とクロス集計

問6: 相談相手の有無 (n=862)

生活上の悩みや不安を相談できる相手または場所（機関）はありますか。



問6-2: 相談先 (n=565)



家族構成別 問6クロス集計

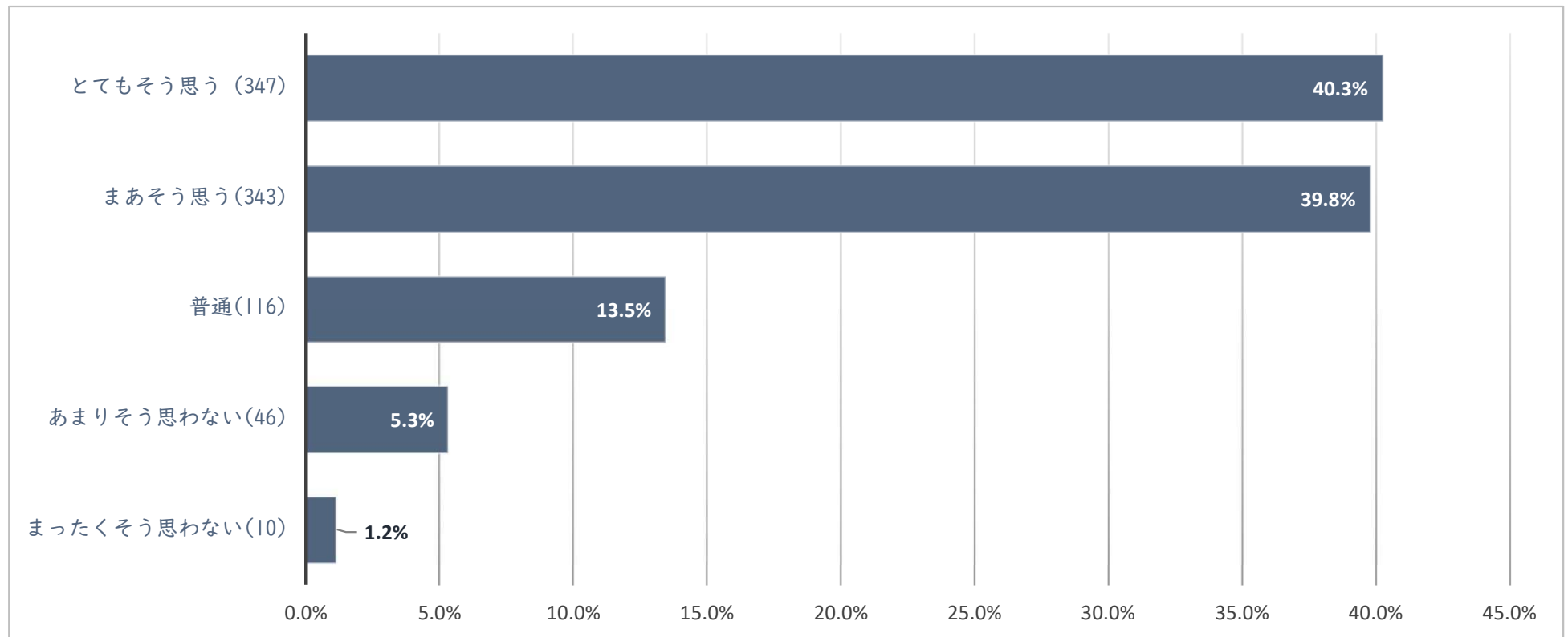
家族構成	ある	不明	ない
単身	53.8%	17.2%	29.0%
夫婦のみ	59.3%	20.4%	20.4%
2世代	59.3%	21.2%	19.5%
3世代	63.0%	21.8%	15.1%

単身世帯は相談相手が「ない」が29.0%と最も高い
インフォーマルな相談先（家族・友人）が中心
孤立リスク層として支援が必要

地域での暮らし・近所づきあい

問7: 住み慣れた地域に長く暮らしたい (n=862)

あなたは、住み慣れた地域に長く暮らしたいと思いますか。



問8: 入退院支援者の有無

問8: 入退院支援者の有無 (n=862)

病気による入退院の支援や手続きを任せられる人はいますか



約14% (120人) が支援者不在。

家族構成別クロス集計

家族構成	いる	いない
単身	65.6%	34.4%
夫婦のみ	91.6%	8.4%
2世代	86.6%	13.4%
3世代	90.8%	9.2%

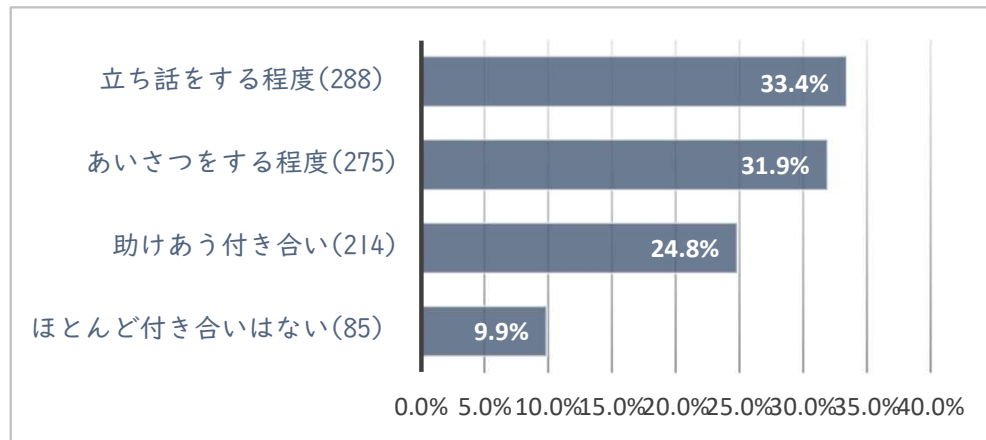
単身世帯は34.4%が入退院支援者がいない

単身世帯との関連を考慮した支援体制構築が必要

問9：近所づきあいの程度、問10：近所付き合いの感じ方

問9：近所づきあいの程度 (n=862)

あなたは近所づきあいがありますか



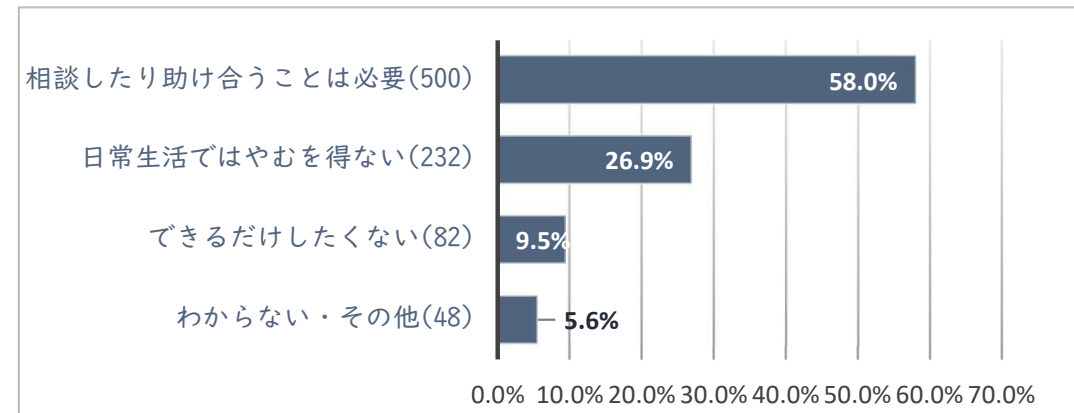
家族構成別クロス集計

構成	助合い	立話	挨拶	なし
単身	19.4%	35.5%	20.4%	24.7%
夫婦のみ	30.1%	35.8%	24.3%	9.7%
3世代	31.1%	33.6%	28.6%	6.7%

単身世帯はつきあいはないと答える割合が多い

問10：近所付き合いの感じ方 (n=862)

あなたは近所づきあいについてどのように感じていますか



家族構成別クロス集計

構成	必要	やむ なし	したく ない	不明
単身	61.3%	21.5%	14.0%	3.2%
夫婦のみ	61.5%	23.5%	7.5%	5.3%
3世代	61.3%	23.5%	14.3%	0.8%

家族構成が違っても必要だと考えている割合は同じ

問11:地域の居場所、問11-2:居場所の種類

問11:居場所の有無 (n=862)

地域に安心して過ごせる「居場所」があると思いますか

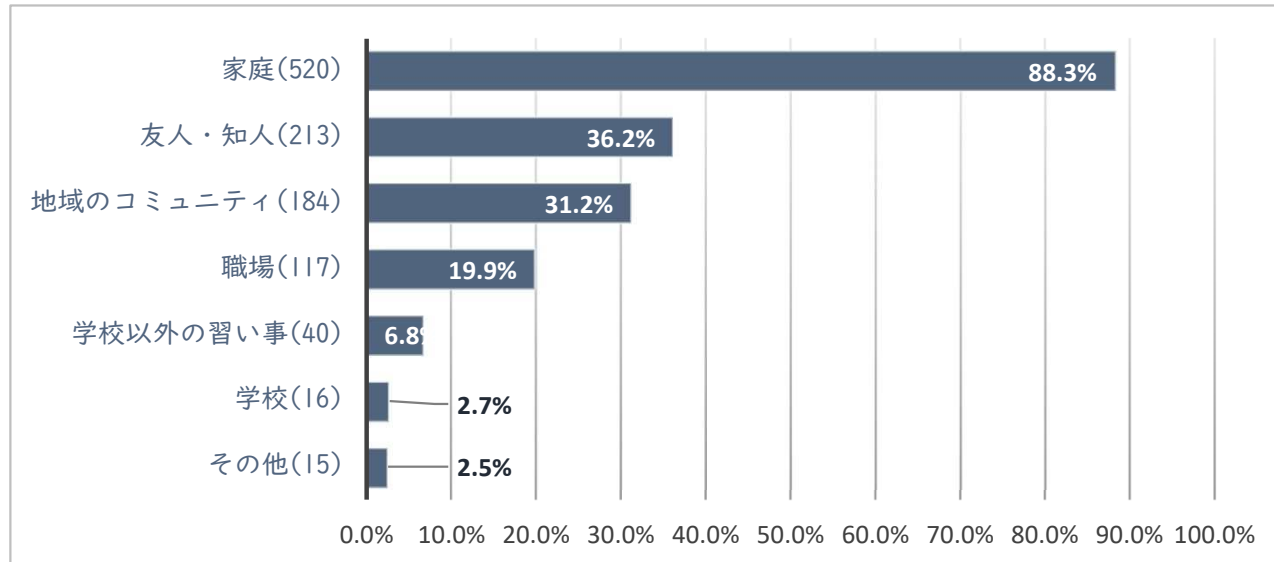
ある
581人
67.4%

ない
281人
32.6%

約3割が居場所が「ない」と回答

問11-2:居場所の種類 (複数回答 n=589)

どのような居場所ですか



年代別クロス集計

年代	ある	ない
20歳代	55.0%	45.0%
30歳代	80.4%	19.6%
40歳代	67.2%	32.8%
50歳代	61.9%	38.1%
60歳代	64.7%	35.3%
70歳代	70.6%	29.4%

家族構成別クロス集計

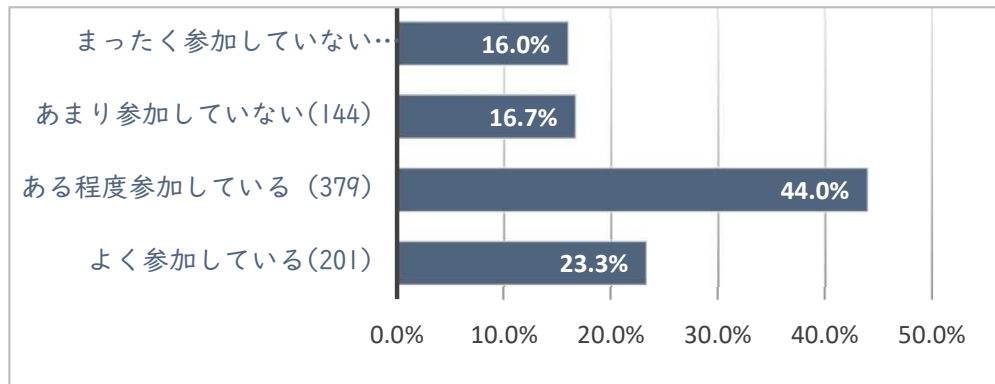
家族構成	ある	ない
単身	54.8%	45.2%
夫婦のみ	69.9%	30.1%

20歳代・単身世帯は居場所が「ない」が高い

問12:地域活動・ボランティア活動参加経験 問12-2:参加している活動

問12: 地域活動への参加経験 (n=862)

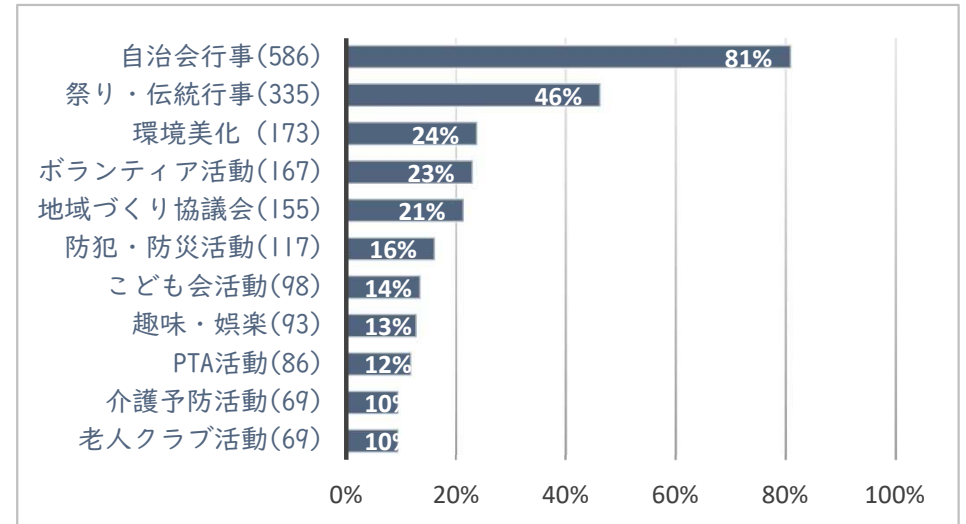
地域の行事、地域活動、ボランティア活動等への参加経験



家族構成別

構成	よく参加	ある程度	少し参加	なし
単身	16.1%	36.6%	21.5%	25.8%
夫婦のみ	30.1%	42.5%	11.9%	15.5%
3世代	20.2%	55.5%	15.1%	9.2%

問12-2: 参加している活動 (複数回答 n=724)

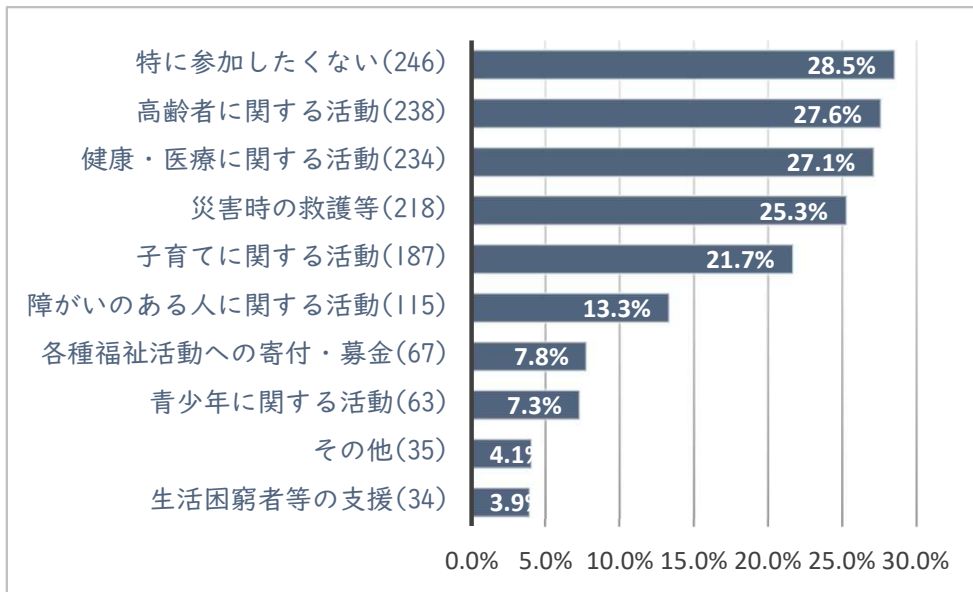


単身世帯は25.8%が「ほぼ参加しない」で最も高い
3世代世帯は75.7%が「参加経験あり」で最も活発

今後参加したい活動・関心の変化

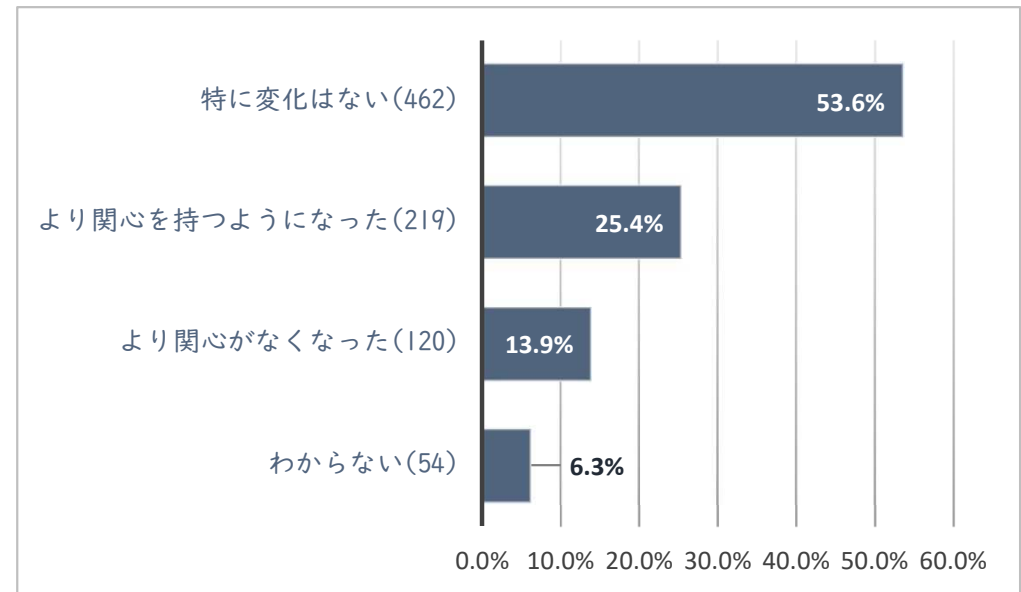
問13: 今後参加したい活動 (複数回答 n=862)

今後参加してみたいボランティア、NPO活動、社会貢献活動



問14: 地域への関心の変化 (n=862)

地域の行事や地域活動についての関心は数年前と比べてどう変化したか



約3割が「特に参加したくない」と回答

参加意向がある人では高齢者支援 (27.6%)、健康・医療 (27.1%)、災害救援 (25.3%) への関心が高い

福祉サービス・制度の認知と利用

問15: 福祉サービス利用経験 (n=862)

福祉サービスを利用したことがありますか

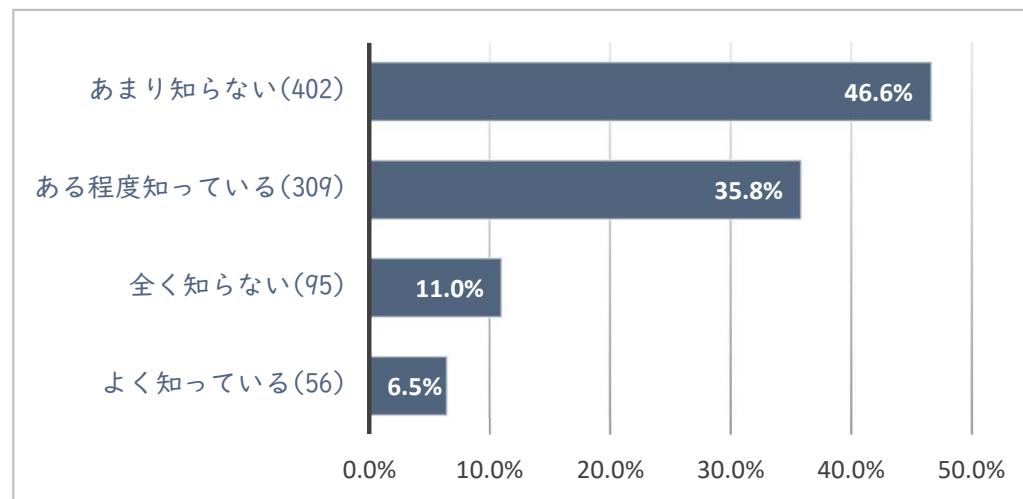


年代別クロス集計

年代	よく知っている	ある程度	少し	知らない
20歳代	5.0%	0.0%	60.0%	35.0%
30歳代	6.5%	16.3%	60.9%	16.3%
40歳代	1.7%	23.5%	49.6%	25.2%
50歳代	6.2%	36.4%	51.1%	6.2%
60歳代	6.8%	41.2%	43.4%	8.6%
70歳代	10.2%	46.7%	37.6%	5.6%
80歳以上	2.9%	51.4%	40.0%	5.7%

問16: 福祉制度の認知度 (n=862)

磐田市の福祉制度や施策、福祉サービスを知っていますか



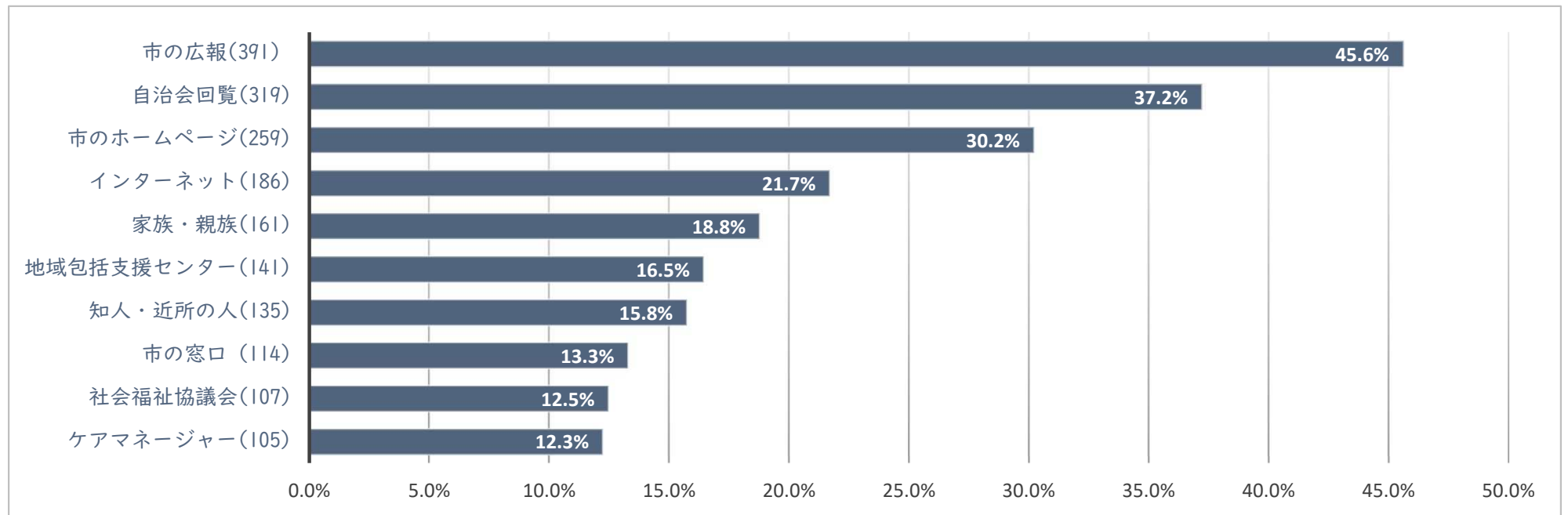
約6割 (57.6%) が福祉制度を「あまり知らない」または「全く知らない」と回答

情報発信の強化が必要

問17: 福祉情報の入手先

問17: 福祉情報の入手先 (複数回答 n=857)

福祉に関する情報をどこから入手していますか 上位10項目

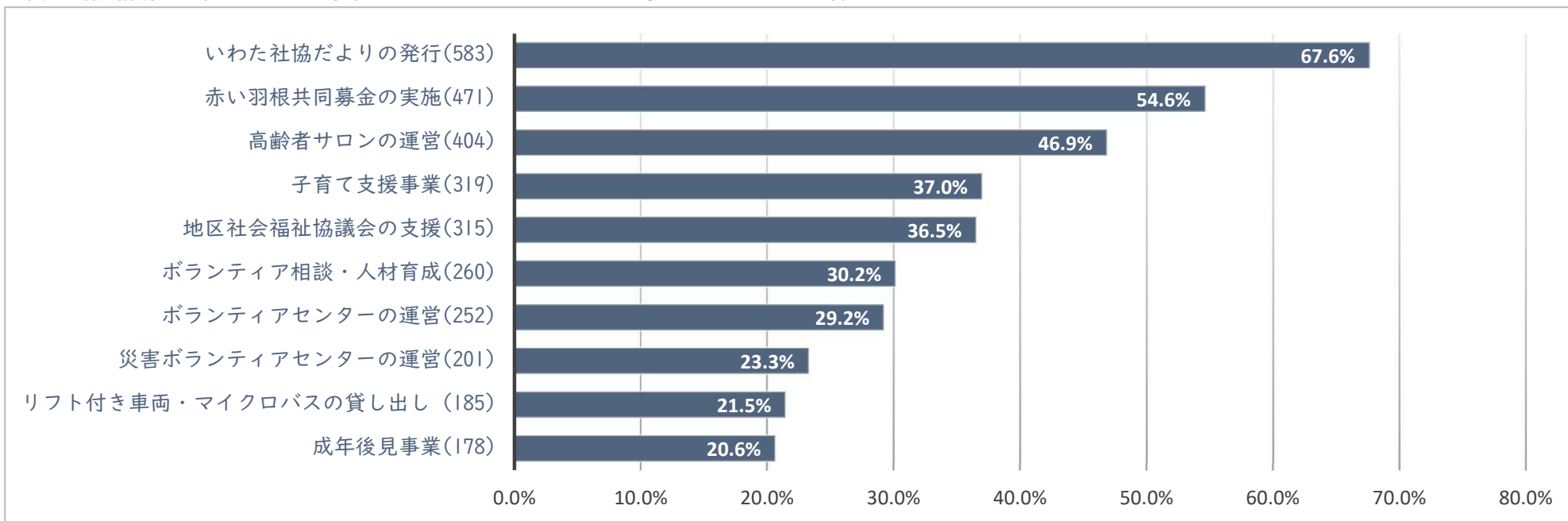


市の広報 (45.6%) と自治会回覧 (37.2%) が主な情報源。約1割が「入手していない」と回答

問18：社協事業の認知度 問19：社協事業の利用経験

問18：社協事業の認知度（複数回答 n=862）

磐田市社会福祉協議会が行っている主な事業について、知っているものをお選びください 上位10項目



「いわた社協だより」（67.6%）と「赤い羽根共同募金」（54.6%）の認知度が高い

問19：社協事業の利用経験（n=850）

磐田市社会福祉協議会が行っている事業への

参加またはサービスを利用したことがありますか

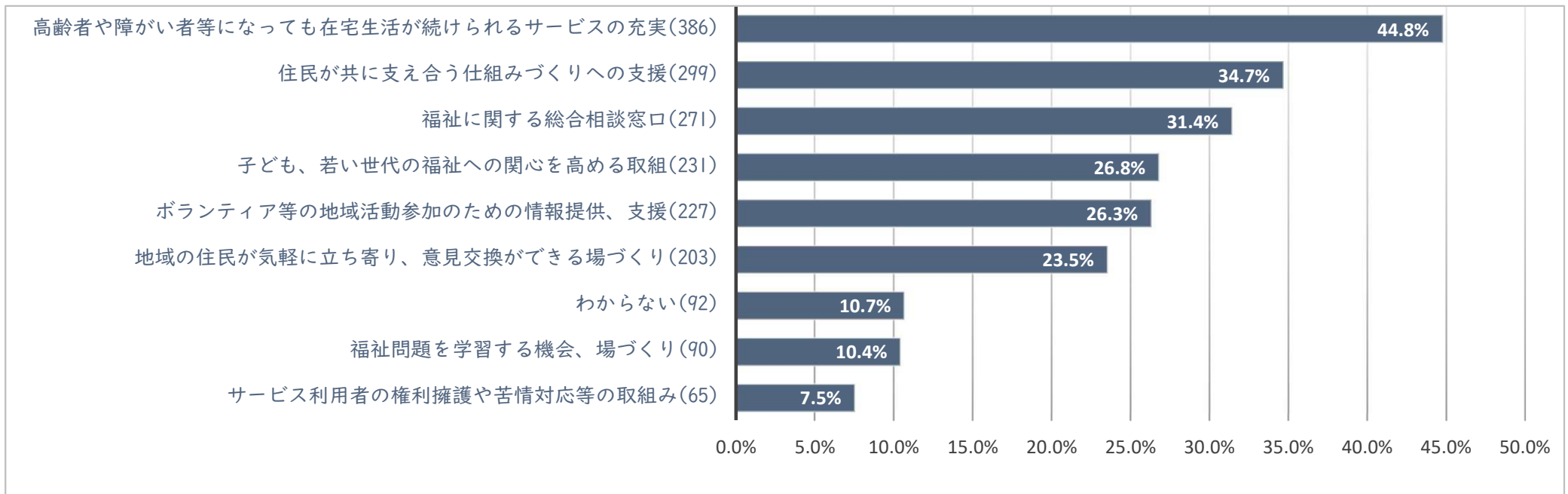
ない
599人
70.5%

ある
251人
29.5%

今後への期待（Ⅰ）社協への期待

問20：社協への期待（複数回答 n=862）

今後、磐田市社会福祉協議会に期待することはどんなことですか

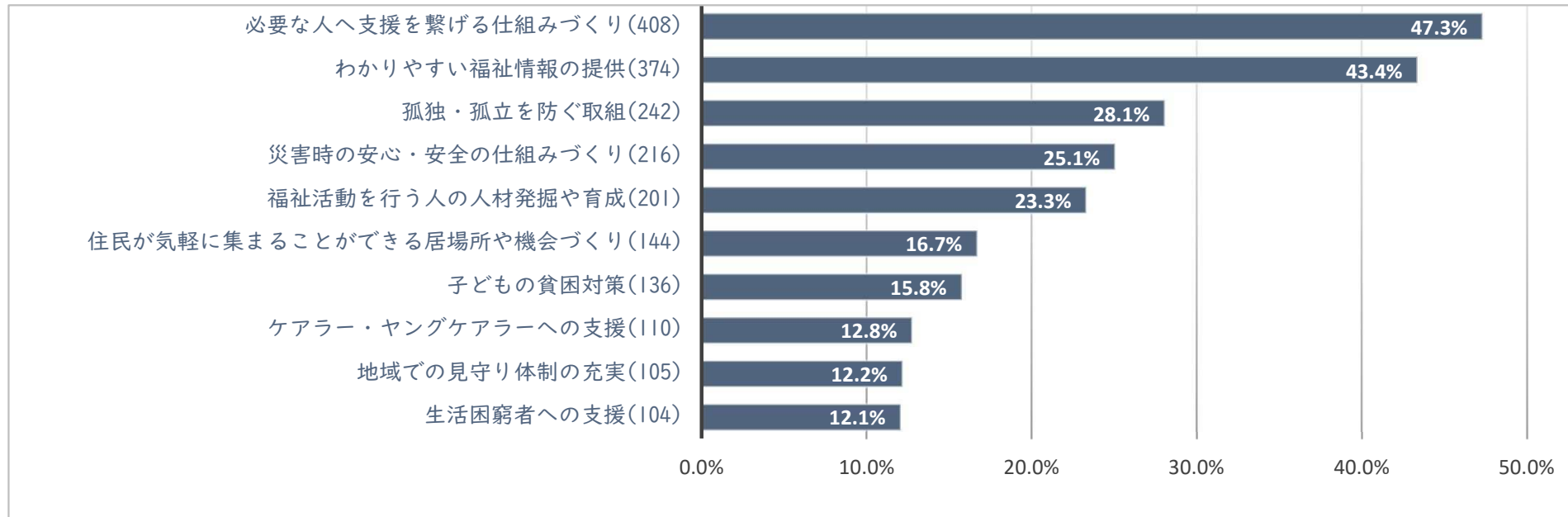


在宅生活継続支援（44.8%）への期待が最も高い。支え合いの仕組みづくり（34.7%）、総合相談窓口（31.4%）も上位

今後への期待（2）市への期待施策

問21：市への期待施策（複数回答 n=862）

地域に住む人同士が助け合い、支え合える地域づくりのために、今後磐田市ではどのような支援に力を入れていく必要があると思いますか 上位10項目

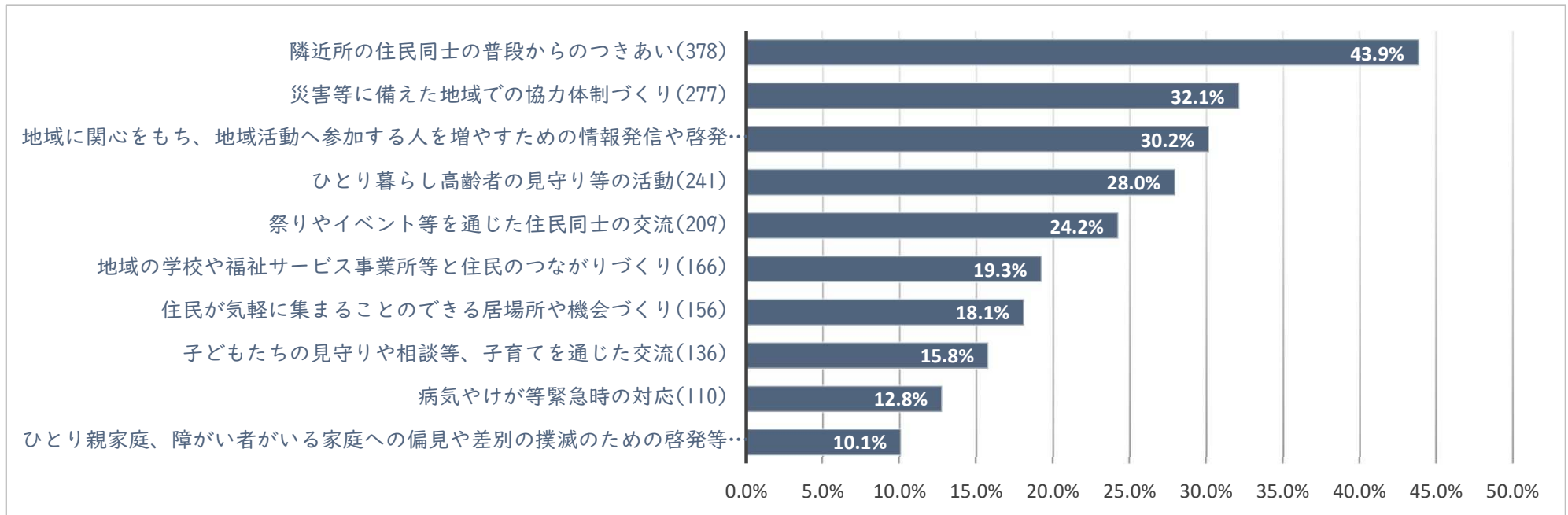


支援を繋げる仕組みづくり（47.3%）とわかりやすい福祉情報提供（43.4%）が二大要望。孤独・孤立対策（28.1%）も重要課題

今後への期待 (3) 地域への期待

問22: 地域への期待 (複数回答 n=862)

地域に住む人同士が助け合い、支え合える地域づくりのために、今後地域としてどのようなことに取り組む必要があると思いますか



隣近所のつきあい (43.9%)、災害対応 (32.1%)、地域活動の啓発 (30.2%)、高齢者見守り (28.0%) が上位

まとめ 主な調査結果のポイント

主な調査結果のポイント

項目	調査結果	示唆
不安・困りごと	62.1%が「ある」と回答。20歳代は85%	若年層への支援・相談体制強化
相談相手	40.8%が「いない」「わからない」	孤立防止、相談窓口の周知
近所づきあい	若年層ほど希薄。20歳代は45%が「なし」	世代間交流、若年層の地域参加
福祉制度認知	57.6%が「あまり知らない」「全く知らない」	わかりやすい情報発信強化
地域活動参加	67.3%が参加経験あり	参加促進策の強化
市への期待	「支援を繋げる仕組み」47.3%が最多	相談体制・情報発信の充実